実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
広島市	中須賀・信山・神手・大田地区	令和2年7月1日	

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	11.68 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	6.10 ha
③地区内における70才以上の農業者の農地面積の合計	5.48 ha
i うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	2.67 ha
ii うち後継者について不明の農業者の農地面積の合計	0.00 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある農地面積の合計 (備考)	0.48 ha

2 対象地区の課題

アンケート回答者の農地面積の約8割が70才以上となっており、高齢化が進んでいる。
また、アンケートに回答した70才以上のうち後継者がいる農地の面積は約5割となっているが、地域での話し合いの結果、すべての農地を管理できる後継者ばかりでないことが分かり、数年後、管理できない農地が増えることが懸念される。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

広島市農業振興センターの「スローライフで夢づくり新規就農者育成事業」研修を令和2年3月に修了し、4月から当地区に就農した前田一氏を地域の中心経営体として位置付け、農地を集約していく。

今後、「ひろしま活力農業経営者育成事業」研修修了生等、中心経営体となり得る就農希望者へ農地を斡旋していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	備考
認就(予定)	前田 一	野菜	0.11	野菜	0.59	(現在)信山	将来的には規模拡大予定
計	1 経営体		0.11 ha		0.59 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

前田一氏について、青年等就農計画を作成し、それに基づき、認定新規就農者として関係機関で支援する。

前田一氏は法人化等も視野に入れているため、地域で話し合いながら、貸付け等の意向がある農地を集約していき、規模拡大を図る。

今後、中心経営体となり得る就農希望者へ農地を集約するため、地域で話し合い、受入れを促進・支援していく。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m ²)		
	貸付け	作業委託	売渡
中須賀・信山・神手	2,713.91	0.00	2698.00
計	2,713.91	0.00	2698.00